

ねそ

白川郷荻町集落の自然環境を守る会 発行 平成19年 2月号

アルペロベッコ世界遺産10周年記念事業参加報告

白川村教育委員会 近藤 久善

みだしの交流会に参加させていただきましたので、以下に報告させていただきます。

1. 日 時 平成18年12月3日(日)～8日(金) 6日間
2. 場 所 イタリア アルペロベッコ市(ローマ市内見学含む)
3. 参加者 白川村長谷口 尚・谷口早苗夫人
代表団 団長 川田 裕
高桑徹司・水木国愛・水木秀子・平賀勝子・板並須美恵・西村浩昭
事務局 近藤久善 以上10名
4. 日 程
 - 1 2月3日 Am3:00～白川村発
 - 1 2月4日 Am8:00～ローマ市内見学
 - 1 2月5日 Am9:30～世界遺産10周年記念式典参加
Pm3:00～イタリア世界遺産都市遺産管理者によるセミナー参加(村長)
市内見学および市民交流(代表団)
 - 1 2月6日 Am9:00アルペロベッコ市民と白川村代表団との交流会参加
Pm8:00バーリ音楽学院オーケストラコンサート鑑賞
 - 1 2月7日 Am8:00アルペロベッコ中学校訪問
 - 1 2月8日 Pm12:00白川村着

世界遺産10周年記念式典に参加

式典では、周辺の遺産保護の専門家などに加え、アルペロベッコ市民や中学生と一緒に参加し10周年を祝うセレモニーが開かれました。オープニングでは、市長よりこれまでの白川村との姉妹都市について紹介され、歓迎の挨拶をいただきました。代表団からは、持参したイタリア語に翻訳された世界遺産白川郷パンフレットを参加者全員に手渡しました。また、谷口村長から世界遺産登録10周年の節目である式典に参加させていただいたことに対する謝辞と、遺産を後世に守り伝えていく使命をアルペロベッコと共に学んでいきたいと挨拶されました。

第2部では、世界遺産の保護について会議が行われ、「ユネスコと世界遺産」「アルペロベッコの歴史」「現在行われている遺産に関する調査状況」「アルペロベッコの遺産価値」「旧石器時代と変わらぬ建築様式」「民俗館の活用」など専門的な内容が担当者より報告されました。この報告の他、イタリア8地区の世界遺産都市から遺産保護に関する問題が報告され、管理計画や文化政策の重要性や、遺産保護を進めるための財政的支援。特に、住民の協力が必要であるなどの意見が出されました。また、その上で観光を如何に遺産保護のために利用するのか、観光収益を如何様に安定させるかが問題であるなど、白川村と同様に遺産保護に対する有益な観光開発を模索する話し合いが行われました。



[式典及び会議の様子]

歓迎式典参加

市役所前広場にて開催された交流会では、大勢の市民が出迎えてくださり、小学生や中学生が歓迎のプラカードや横断幕、風船などを使って式典を飾っていただいたり、日本をイメージしたダンスや日本語で歓迎のスピーチなどがあり、町中あげての盛り上がりとなりました。村長は「大勢の方が朝早くから準備され盛大に歓迎していただき深く感謝申し上げます。」と挨拶され、代表団の男性は法

被を、女性は着物を着て参加し、アルペロベッコ市民に着物文化に触れていただきました。

交流会終了後、市庁舎内に席を移しアルペロベッコ評議員など市関係者との今後の姉妹都市関係の発展について話し合いが行われました。その中で市長は、「当初、私は日本人がハグもしないし挨拶に感情を感じられず、とても冷たい人種だと思っていた。しかし、白川村に行って日本人と触れ合う中で内に秘めた想いはイタリア人よりも熱いことが分かった。また、白川村の行事に参加させていただき、一つ一つのプログラムが計画どおりに進行していて驚いた。」と、白川村訪問の際の感想を述べられました。アルペロベッコ市長と白川村長は、姉妹都市として継続的にさらなる友好関係を築いていこうと硬い握手をされました。



[市民をあげて大歓迎!!]

アルペロベッコ中学校訪問

代表団は生徒数380人のアルペロベッコ中学校を訪問させていただきました。生徒たちは皆元気一杯で、昨日の歓迎式典の興奮そのままといった出迎えをしてくださいました。授業を見学させていただくためにある教室に入ると、白川村の写真入の本を使って授業を受けているクラスもあり、驚きと感謝の思いをしました。白川村としても、白川の子供たちにアルペロベッコを教えていきたいと思いました。



[テキストに白川が載ってるゾ]

終わりに

今回の交流会では、日本との文化の違いの大きさに戸惑うことが多くありましたが、文化や風土に加え芸術など様々な内容を楽しませていただき、心のこもった歓迎を受けて参りました。

このような体験ができたことは、アルペロベッコと白川村が姉妹都市関係であること以上に、白川村民の方々が10周年記念シンポジウムをはじめ、これまで幾度と無く真心を込めてアルペロベッコの方々を心から迎えいただいたこと。さらには、合掌造り文化を守り後世へ繋ぐ役割を担う白川村であったからこそ、このような交流ができたのだと感じました。荻町区民の皆様へ深く感謝を申し上げ交流の報告とさせていただきます。

白川郷で行った国際フォーラムの実績がアルペロベッコの記念式典に活かされたことや、村をあげてのおもてなしの心が、今回の招待につながったことがわかりました。白川郷宣言(3)に関わる貴重な取り組みであり、ご参加いただいた方々に心より感謝申し上げます。なお、詳細や写真については、白川村教育委員会文化財係に保管されているそうですので、興味のある方はご連絡を。近藤さん、貴重なご報告をありがとうございました。(和田)

守る会の活動指針 (国際フォーラム白川郷宣言より)

- (1) 隣人にやさしい心豊かで安全な共同生活のいっそうの充実
- (2) かけがえのない美しい文化遺産の保全と未来への確かな継承
- (3) 国内外の人々との文化交流を通して友好の輪の拡大

= 1月の活動報告 =

- 1月 9日 1月定例会(14名)
- 1月 10日 世界遺産フォーラム in 高野山
依頼原稿作成(副会長)
- 1月 17日 荻町伍長会出席
- 1月 18日 NHK取材協力(会長)
- 1月 24日 仁木小授業協力
- 1月 30日 荻町新住宅地についての会議
- 2月 1日 臨時役員会

= 区民の皆様へ =

建物や土地などの現状を変更する場合は許可が必要です。必ず現状変更申請をして下さい。申請書は守る会定例会(毎月10日前後)の2週間前までに財団又は各組代表の委員に提出して下さい。このことは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆さんの理解とご協力をお願いします。

2月の協議事項(現状変更申請に関わって)

- ***** サッシの取り替え
- ***** 薪小屋の移動・仮設・設置
- ***** 落屋トタン葺き替え
- ***** 倉庫の増築